

日本フェアプレー大賞
2022大賞受賞者
麻生真愛さんにインタビュー!
作文を書くことでフェアプレーを知った

気づけたきっかけは
道徳の授業

私が「日本フェアプレー大賞2022」に応募したきっかけは、フェアプレーを題材にした道徳の授業でした。先生の提案から、みんなで「日本フェアプレー大賞2022」に応募することになり、それまで意識したことのないフェアプレーについて調べてみました。するとフェアプレーとはルールを守ることがもちろん、思いやりの気持ちも大切なことを知り、スポーツの場面だけではなく、普段の様々な場面にもあることを理解しました。そうして自分自身を振り返ると、すぐに思い出したのが、小学3年生頃の体操教室での出来事。漫画を見てねです。自分の行動に思いやりがなかったことに気づかせてくれたこの出来事は、当時の私に



日本フェアプレー大賞2022
大賞受賞者
麻生 真愛さん

フェアプレー
精神をもって世界へ

現在、麻生さんは女子サッカー部に入部。自分自身の技術の上達やチームの勝利を目指して練習に励む毎日を送っています。そして、フェアプレーを意識することが増えたそうです。例えば、プレー中に相手と強く接触して転ばせてしまった時などは、その場で謝るよう心がけていると語ってくれました。好きなサッカーを楽しむためにも、フェアプレーが大切なことを実感しているようです。麻生さんは、世界に出て仕事をしたいという夢があります。世界の人々にも、ぜひフェアプレーの輪を広げてほしいですね。



サッカーをする麻生さん(水色)

名前を新たに
今年も開催!! 日本フェアプレーエピソード大賞

自分自身が行ったり見たりしたフェアプレー、心の中で感じたフェアプレーについてのお話を教えてください。スポーツしている時や普段の生活の中で、「これってフェアプレーだな」と感じるものがあたらしくりかると覚えておいて、募集が始まったら作文にしてぜひ送ってください。大賞に選ばれた話は、漫画にしてこのフェアプレーニュースで掲載します。

「日本フェアプレーエピソード大賞2023」の詳細が決まりましたら、JSPOの「フェアプレーで日本を元気にキャンペーン」特設サイトにて告知いたします。ぜひ、応募へのご協力をお願いします。



他人を思いやる心

東京都立大泉高等学校
附属中学校2年生(当時)
麻生 真愛さん

麻生 真愛さん

